

## ■草津市障害者計画（後期計画）の進捗状況

### ○各課事業照会結果（192件）

新規4件、拡充4件、追加6件、継続178件

#### ●区分の凡例

【新規】→平成25年度以降に新たに実施する（している）事業

【継続】→本計画の主な事業に記載があり、かつ、平成24年度以前から実施している事業

【追加】→本計画の主な事業に記載はないが、平成24年度以前から実施している事業

【拡充】→本計画の主な事業に記載があり、かつ、平成25年度以降に内容を拡充する（した）事業（※単に予算額が増えただけでは拡充には該当しません。）

【廃止】→本計画の主な事業に記載があり、かつ、平成25年度以降に廃止する（した）事業

《主な事業》※再掲は項目を一つに集約しています。

区分	主な事業	担当課	H26事業実績	H27事業計画	障害者計画の該当ページ
新規	孤立化防止対策事業	障害福祉課	高齢者と障害者で構成される世帯など、特に支援が必要と思われる世帯が地域で安心して暮らせるよう、障害者世帯の調査を行うとともに、支援者間の情報共有や見守り、訪問活動の促進を図りました。事業の一部を障害者団体に委託して実施しました。 ・実施数 1事業（訪問相談15件、アンケート調査96件/177件中、訪問調査53件/110件中）	高齢者と障害者で構成される世帯など、特に支援が必要と思われる世帯が地域で安心して暮らせるよう、支援者間の情報共有や見守り、訪問活動の促進を図るとともに、障害者団体に委託し、障害者世帯の調査や養護者等のサロンを実施します。 ・実施数 1事業	35ページ 体系【1-1-⑥】 51ページ 体系【1-6-②】
新規	就労アセスメントの実施	障害福祉課	特別支援学校卒業生等が就労系サービスの進路を目指すにあたって、短期アセスメントの実施を促進しました。このアセスメントは、本人の希望を考慮しつつ将来的な就労の可能性も含めた就労面の力を評価するものです。 ・利用者数 1人	特別支援学校卒業生等が就労系サービスの進路を目指すにあたって、本人の希望を考慮しつつ将来的な就労の可能性も含めた就労面の力を評価するため、短期アセスメントの実施を促進します。 ・利用者数 13人	49ページ 体系【1-5-④】
新規	障害者差別解消法に関する取組み	障害福祉課		障害者差別解消法についての研修会を開催するなど、啓発活動を行うとともに、庁内関係課会議において庁内の取組みを検討します。 ・研修会 9月24日開催 169人	56ページ 体系【2-①】

拡充	日中一時支援事業や放課後等デイサービスなどによる放課後活動の充実	障害福祉課	<p>障害者が自立した日常生活または社会生活を営むために、障害者の日中における活動の場を確保し、障害者の家族の就労支援および一時的な休息を図るための支援を行いました。なお、長時間預かりに対応できるよう、報酬単価の見直しを行うとともに医療的ケアに対応できる事業所の確保に努め、2箇所の確保が図れました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ利用回数 8,111回</li> </ul>	<p>障害者が自立した日常生活または社会生活を営むために、障害者の日中における活動の場を確保し、障害者の家族の就労支援および一時的な休息を図るための支援を行います。なお、引き続き医療的ケアに対応できる事業所の確保に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>延べ利用回数 9,862回</li> </ul>	<p>36ページ 体系【1-1-③】 44ページ 体系【1-3-⑤】</p>
拡充	精神障害者相談員の設置の検討	障害福祉課	<p>平成26年度から精神障害者相談員を1名設置し、精神障害者およびその家族からの相談に応じ、必要な援助を行うことにより障害者の福祉の増進を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>設置数 1名（相談件数 105件）</li> </ul>	<p>精神障害者相談員2名の確保に努めます。</p>	<p>52ページ 体系【1-6-②】 53ページ 体系【1-7-①】</p>
追加	湖南福祉圏域のサービス調整会議において必要な支援策を検討	障害福祉課	<p>湖南地域障害児・者サービス調整会議において、障害者等への支援の体制の整備を図るため、湖南福祉圏域内の関係機関が集まり、協議や調整を行いました。</p> <p>（開催数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圏域サービス調整会議 運営会議 4回 全体会議 2回</li> <li>進路部会 3回</li> <li>進路部会作業部会 2回</li> <li>重度障害児者進路先確保検討プロジェクト会議 本会議 4回</li> <li>行動障害支援ネット 定例会議 4回</li> <li>ジョブリンク定例会 2回</li> </ul>	<p>湖南地域障害児・者サービス調整会議において、障害者等への支援の体制の整備を図るため、湖南福祉圏域内の関係機関が集まり、協議や調整を行います。</p> <p>（開催数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>圏域サービス調整会議 運営会議 4回 全体会議 2回</li> <li>進路部会 3回</li> <li>進路部会作業部会 2回</li> <li>重度障害児者進路先確保検討プロジェクト会議 本会議 4回</li> <li>行動障害支援ネット 定例会議 4回</li> <li>ジョブリンク定例会 2回</li> </ul>	<p>35ページ 体系【1-1-①】 36ページ 体系【1-1-②】</p>
追加	放課後等デイサービス	発達支援センター	<p>放課後や夏休み等の長期休暇に、集団で過ごす中で生活能力の向上や社会との交流を進めるために放課後等デイサービスの推進に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数 114人</li> </ul>	<p>放課後や夏休み等の長期休暇に、集団で過ごす中で生活能力の向上や社会との交流を進めるために放課後等デイサービスの推進に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数 156人</li> </ul>	<p>36ページ 体系【1-1-④】</p>

追加	ファミリー・サポート・センター 利用助成	子ども子育て推 進室（旧：子育 て支援セン ター）	障害児が利用する際に、依頼会員への利用料の助成と、提供会員への報酬の助成を行い、障害児がおられる家庭の負担の軽減を図るとともに、地域の子育て支援の充実を図りました。 ・決算額 4,870千円	障害児が利用する際に、依頼会員への利用料の助成と、提供会員への報酬の助成を行い、障害児がおられる家庭の負担の軽減を図るとともに、地域の子育て支援の充実を図ります。 ・予算額 4,863千円	38ページ 体系【1-1-⑥】
追加	読書推進事業	図書館	○録音図書・点字図書の貸し出し ・録音図書 2,298冊 ・点字図書 0冊  ○視覚障害者や体の不自由な人など来館困難者への宅配 ・視覚障害者 46回 ・施設・団体 12回  ○移動図書館による福祉施設への巡回貸出【巡回回数／利用者数／貸出冊数】 ・なごみの郷 22回／58人／201冊 ・渋川市民センター 23回／98人／1,269冊	○録音図書・点字図書・大活字本(拡大写本含)の貸し出し。  ○視覚障害者や体の不自由な人など来館困難者への録音図書・点字図書・大活字本(拡大写本含)・墨字図書の宅配。  ○録音図書・点字図書・大活字本(拡大写本含)の製作 ・製作予定 録音図書10タイトル点字図書4タイトル拡大写本4タイトル  ○「声の広報」において新刊図書紹介と行事・移動図書館の案内等の内容の「図書館便り」コーナーを製作 ・毎月1回  ○老人ホーム・デイケアセンター・共同作業所への団体貸出  ○移動図書館による「なごみの郷」・「渋川市民センター」等福祉施設への巡回貸出 ・各月2回巡回	46ページ 体系【1-4-②】
追加	障害児相談支援の実施	発達支援セン ター	障害児通所支援等の福祉サービスを申請した保護者と子どもに対して、障害児支援利用計画を作成しながら、継続的に利用状況を把握し、地域生活を支援しました。 ・利用者数 76件（セルフプラン含む）	障害児通所支援等の福祉サービスを申請した保護者と子どもに対して、障害児支援利用計画を作成しながら、継続的に利用状況を把握し、地域生活を支援します。 ・利用者数 237件（セルフプラン含む）	53ページ 体系【1-7-①】

継続	共同生活援助（グループホーム）の提供	障害福祉課	障害者に対し、地域の共同生活の場で入浴や排せつ、食事の介護、日常生活上の相談や援助などを行いました。 ・利用者数 75人	障害者に対し、地域の共同生活の場で入浴や排せつ、食事の介護、日常生活上の相談や援助などを行います。 ・利用者数 87人	36ページ 体系【1-1-②】
継続	重度障害者に対応した共同生活援助（グループホーム）の整備促進	障害福祉課	湖南福祉圏域のサービス調整会議のプロジェクト会議等において、重度障害者に対応した共同生活援助（グループホーム）の整備促進について検討しました。	湖南福祉圏域のサービス調整会議や湖南福祉圏域4市において、重度障害者に対応した共同生活援助（グループホーム）の整備促進の方策について検討します。	36ページ 体系【1-1-②】
継続	5歳児相談の実施	発達支援センター	保育所、幼稚園に在籍する満5歳の子どもの保護者に対して、相談に応じ、スムーズな就学への移行を支援しました。 ・年間相談者数 56名	保育所、幼稚園に在籍する満5歳の子どもの保護者に対して、相談に応じ、スムーズな就学への移行を支援します。 ・年間相談者数 56名	36ページ 体系【1-1-④】
継続	児童生徒への相談・カウンセリングなど思春期対応の強化	学校教育課	○滋賀県スクールカウンセラー等活用事業不登校および集団不適應等の学校生活上の悩みや不安に対して、スクールカウンセラーによる教育相談を行いました。 ・相談件数 785件	○滋賀県スクールカウンセラー等活用事業不登校および集団不適應等の学校生活上の悩みや不安に対して、スクールカウンセラーによる教育相談を行います。 ・相談件数 700件	40ページ 体系【1-2-②】
継続	本人・家族への教育相談・就学相談の充実	学校教育課	○夏6日間、秋1日間、就学にかかわる相談日を設定し、就学前だけでなく、在籍異動に伴う情報提供の場として就学相談を行いました。 ○特別支援学校および市内小中学校での学校見学などを実施し、就学前に学校の詳細な情報提供を行いました。	○夏6日間、秋1日の就学相談日を設定するとともに、就学指導委員会委員を増員することで、より多くの相談に対応できるようにします。 ○特別支援学校および市内小中学校での学校見学などを実施し、就学前に学校の詳細な情報提供を行います。	43ページ 体系【1-3-②】

<p>継続</p>	<p>計画相談支援の実施</p>	<p>障害福祉課</p>	<p>障害福祉サービスおよび地域相談支援を利用するすべての障害者を対象に、サービス利用時にサービス等利用計画の策定、サービス等の利用状況の検証と計画の見直し、その他サービス事業所等との連絡調整を行いました。          ・利用者数 357人</p>	<p>障害福祉サービスおよび地域相談支援を利用するすべての障害者を対象に、サービス利用時にサービス等利用計画の策定、サービス等の利用状況の検証と計画の見直し、その他サービス事業所等との連絡調整を行います。          ・利用者数 829人</p>	<p>53ページ          体系【1-7-①】</p>
-----------	------------------	--------------	---	--	-------------------------------------